



# エコアクション21

## 平成28年度版 環境活動レポート

対象期間：平成28年1月～平成28年12月



株式会社 **中セキ北陸**

平成29年 4月 21日 発行

## 1. 事業概要

### □ 組織の概要

1. 事業所名 株式会社 中セキ北陸
2. 代表者名 代表取締役社長 土屋 勝
3. 本社所在地 〒 920-8628  
石川県金沢市神宮寺2丁目20番8号 〔 延床面積 1,456㎡ 〕
4. 事業内容 農業機械の販売及び修理サービス、農業関連施設の設計・施工  
育苗用培土の製造、販売、建設機械の貸出、広告宣伝物配布  
ゴルフ場用機械等の販売及び修理サービス、精米機の設置・管理運営  
\*特定建設業許可 機械器具設置工事業、建築工事業  
石川県知事(特-25)第5717号
5. 事業概要
- |       |                  |
|-------|------------------|
| 設立年月日 | 平成9年8月1日         |
| 資本金   | 9,000万円          |
| 従業員数  | 213名(H28.12月末現在) |
| 売上高   | 60億円             |
| 事業所数  | 16事業所            |

### 6. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	管理部部長	井上 将彦
環境管理事務局	管理部	齋藤 恭兵

連絡先 株式会社中セキ北陸 本社  
金沢市神宮寺2丁目20番8号  
TEL: 076-252-5246  
FAX: 076-252-2754

## 1. 事業概要

### 7. 対象事業所の概要

#### ○ 石川県

事業所名称	〒	所在地	人員数
本社	920-8628	石川県金沢市神宮寺2-20-8	34人
千木総合センター	920-0001	石川県金沢市千木町リ42-1	37人
小松営業所	923-0001	石川県小松市大島町丙185	9人
能登営業所	929-2102	石川県七尾市舟尾町ら18	5人
金沢西営業所	929-0059	石川県金沢市示野町西80	4人

#### ○ 富山県

事業所名称	〒	所在地	人員数
富山事務所	939-8183	富山県富山市小中137	20人
黒部営業所	938-0013	富山県黒部市沓掛637	6人
砺波営業所	939-1327	富山県砺波市五郎丸133-1	9人
インタル砺波営業所	939-1327	富山県砺波市五郎丸134	4人
高岡営業所	939-1105	富山県高岡市戸出伊勢領2521	7人

#### ○ 福井県

事業所名称	〒	所在地	人員数
福井事務所	910-0813	福井県福井市中新田町9-5	28人
培土工場	919-0473	福井県坂井市春江町本堂22	21人
坂井営業所			5人
奥越営業所	912-0004	福井県大野市中津川31字11-2	5人
丹南営業所	915-0057	福井県越前市矢船町13字東馬場9番20	9人
敦賀営業所	914-0814	福井県敦賀市木崎西子8-3	6人
若狭営業所	917-0241	福井県小浜市遠敷8号8番地1	4人

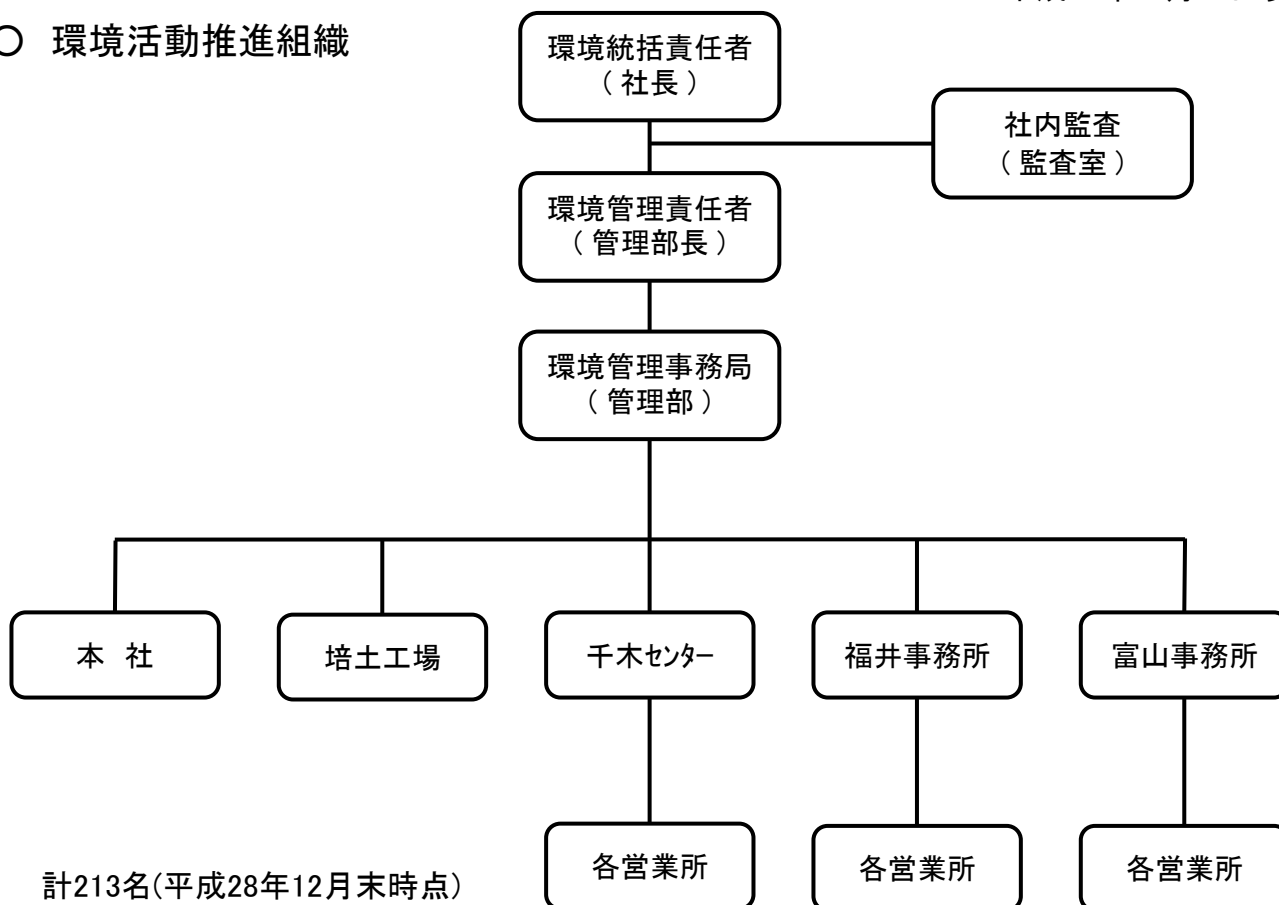
※H28.12月末現在

※平成25年度より全事業所の全活動を対象としております。

## 2. 環境活動推進組織、実施体制

平成28年12月31日現在

### ○ 環境活動推進組織



### ○ 役割

名称	主な役割
環境統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の策定、見直し</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>環境目標、環境活動実行計画の推進にあたり、経営資源(人・もの・かね)を準備する</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動実行計画の策定、実行指示、見直し</li> <li>環境関連法規の定期確認、社内通知</li> <li>環境活動実績の定期確認</li> <li>環境活動取組状況を統括責任者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動実行計画原案作成、個別環境目標作成</li> <li>環境教育の立案、実施</li> <li>全社員への環境目標、活動計画の周知</li> <li>環境活動の実績集計、全社公開</li> <li>環境活動レポート作成、公開</li> <li>環境活動関連の窓口業務</li> </ul>
内部監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所の取組状況確認、改善指導</li> <li>環境教育補佐</li> </ul>
拠点環境責任者 (拠点長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所の環境活動責任者として自部門へ環境方針の周知</li> <li>環境活動実績の確認、部門内周知</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解</li> <li>環境活動の取り組み</li> <li>自部門の月次実績集計及び報告、増減分析</li> </ul>

### 3. 環境方針

#### ◇ 基本理念 ◇

株式会社 中セキ北陸は、環境に優しい事業活動を行うため最高責任者を筆頭に、各部門の業務展開を行う過程で環境に対する継続的改善を実行します。

#### ◇ 行動方針 ◇

1. 環境に関連する法規制等を遵守します。
2. 環境マネジメントシステム(EA-21の考え方)を効果的に運用し、環境問題のリスクを回避します。
3. 運営にかかる電力量・化石燃料の削減に取り組みます。
4. 業務活動を通じて排出される廃棄物の再資源化を推進します。
5. 水使用量の抑制と適正使用に努めます。
6. 環境レポートを公表し、環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。
7. 環境保全型商品の拡販および環境保全型施設の設計に努めます。

— この環境方針は、全ての従業員に周知し、社外の人にも公開します。 —

平成25年 1月 1日

株式会社中セキ北陸

代表取締役社長 **土屋 勝**

## 4. 環境目標・活動計画

### ○ 取組項目の環境目標

当社の事業活動で生じる環境負荷において影響の大きい下記の項目について前年度実績を基準値とした数値目標を設定し、環境資源の有意義な活用を目指すと共に使用量の節減及び排出量抑制に取り組めます。

#### 1. 活動目標値

取組項目		基準値 平成27年	取組目標	数値目標		
				平成28年	平成29年	平成30年
購入電力量 (kwh)	培土	765,228	毎年1%減	757,576	750,000	742,500
	その他	546,894		541,425	536,011	530,651
	計	1,312,122		1,299,001	1,286,011	1,273,151
ガソリン使用量 (ℓ)	培土	4,031	毎年1%減	3,991	3,951	3,911
	その他	168,310		166,627	164,961	163,311
	計	172,341		170,618	168,911	167,222
軽油使用量 (ℓ)	培土	15,558	毎年1%減	15,402	15,248	15,096
	その他	61,837		61,219	60,606	60,000
	計	77,395		76,621	75,855	75,096
灯油使用量 (ℓ)	培土	738,000	毎年1%減	730,620	723,314	716,081
	その他			0	0	0
	計	738,000		730,620	723,314	716,081
化石燃料使用量 (ℓ)	培土	757,589	毎年1%減	750,013	742,513	735,088
	その他	230,147		227,846	225,567	223,311
	計	987,736		977,859	968,080	958,399
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	培土	2,384,335	毎年1%減	2,360,492	2,336,887	2,313,518
	その他	906,880		897,811	888,833	879,945
	計	3,291,215		3,258,303	3,225,720	3,193,463
産業廃棄物排出量 〔リサイクル〕 (kg)	培土	2,530	数値設定 せず管理	2,530	2,530	2,530
	その他	42,200		42,200	42,200	42,200
	計	44,730		44,730	44,730	44,730
産業廃棄物排出量 〔最終処分〕 (kg)	培土	20,270	数値設定 せず管理	20,270	20,270	20,270
	その他	47,334		47,334	47,334	47,334
	計	67,604		67,604	67,604	67,604
産業廃棄物排出量 〔合計〕 (kg)	培土	22,800	数値設定 せず管理	22,800	22,800	22,800
	その他	89,534		89,534	89,534	89,534
	計	112,334		112,334	112,334	112,334
水使用量 (m <sup>3</sup> )	培土	24,229	毎年1%減	23,987	23,747	23,509
	その他	4,527		4,482	4,437	4,393
	計	28,756		28,468	28,184	27,902
環境配慮商品購入 (%)	培土		毎年60% 以上			
	その他	62.7%		60.0%	60.0%	60.0%
	計	62.7%		60.0%	60.0%	60.0%

## 4. 環境目標・活動計画

- ・「自らが生産・販売・提供する製品」の販売について、当社の主要事業である農機製品の販売において、営業社員がオフロード法をよく理解し、現在の法規制に適応した環境にやさしい農機製品の提案、推進に取り組みます。
- ・目標値設定にあたり環境負荷が大きい培土工場〔培土〕と、その他15拠点〔その他〕に分別して表示します。
- ・産業廃棄物排出について、業務内容及び業績により増減することから数値目標は設定せずに適切な分別を厳守し、環境管理事務局主管のもと適切に管理、指導していきます。
- ・環境配慮商品購入について、今年度より基準値設定の見直しをおこない事務用品購入時の対象商品購入率とし、毎年60%以上を目標値と設定しました。
- ・※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.647kg-CO<sub>2</sub>/kwh を使用しております。  
〔北陸電力の平成26年度実排出係数〕\*今後も継続使用します。

### 2. 活動計画

#### CO<sub>2</sub>排出量を減らします!

- ・昼休みは照明OFF
- ・使用しない部屋も照明OFF
- ・エアコンは夏28℃・冬20℃設定
- ・ブラインド、カーテンも活用して温度調節
- ・クールビズ、ウォームビズは推進から定着へ
- ・電気製品の買い替えはIT商品最優先
- ・PCも全台省電力モードに設定変更
- ・環境に優しい車の購入推進
- ・環境に優しいドライバーの育成
- ・3ヶ月毎の車輛定期点検は忙しくても必ず実施
- ・移動時は効率的なルートでスマート運転
- ・使用実績は報告するだけの習慣から振り返る習慣へ意識UP

#### 水資源使用は無駄なく効率的

- ・節水意識から節水行動へ
- ・手洗い時は水の出っ放し禁止
- ・効率的な洗車を心がけます
- ・融雪使用時もまず除雪をしてから
- ・地下水使用拠点も環境意識の認識を

#### 産廃排出抑制と分別徹底!

- ・3S運動(整理・整頓・清掃)継続
- ・会社の資産は長く大切に使います
- ・捨てる前に再利用できないか考えます
- ・捨てる時は必ず分別廃棄を実施
- ・社内会議のペーパーレス化推進
- ・グループウェア活用により紙の消費削減
- ・紙媒体保存から電子媒体(PDF)保存への移行推進

#### 環境にやさしい資材購入

- ・事務用品購入時は環境配慮対象品を積極的に購入します

#### 環境に優しい農機製品の推進

排ガス規制に対応したトラクター・コンバイン、直播対応の多目的田植機や遠赤外線乾燥機など環境に配慮した農機製品の推進に取り組みます。





## 5. 達成状況と取り組みの評価・次年度の課題

### 1. 活動実績値

取組項目		基準値 平成27年	数値目標	実績値 平成28年	目標値 増減率	数値による 達成状況
購入電力量 (kwh)	培土	765,228	757,576	749,874	-1.0%	達成
	その他	546,894	541,425	501,297	-7.4%	達成
	計	1,312,122	1,299,001	1,251,171	-3.7%	達成
ガソリン使用量 (ℓ)	培土	4,031	3,991	5,057	26.7%	未達成
	その他	168,310	166,627	161,629	-3.0%	達成
	計	172,341	170,618	166,686	-2.3%	達成
軽油使用量 (ℓ)	培土	15,558	15,402	15,639	1.5%	未達成
	その他	61,837	61,219	66,346	8.4%	未達成
	計	77,395	76,621	81,985	7.0%	未達成
灯油使用量 (ℓ)	培土	738,000	730,620	756,000	3.5%	未達成
	その他					
	計	738,000	730,620	756,000	3.5%	未達成
化石燃料使用量 (ℓ)	培土	757,589	750,013	776,696	3.6%	未達成
	その他	230,147	227,846	227,975	0.1%	未達成
	計	987,736	977,859	1,004,671	2.7%	未達成
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	培土	2,384,335	2,360,492	2,421,849	2.6%	未達成
	その他	906,880	897,811	873,701	-2.7%	達成
	計	3,291,215	3,258,303	3,295,550	1.1%	未達成
産業廃棄物排出量 〔リサイクル〕 (kg)	培土	2,530	数値設定 せず管理	2,590	2.4%	未達成
	その他	42,200		221,928	425.9%	未達成
	計	44,730		224,518	401.9%	未達成
産業廃棄物排出量 〔最終処分〕 (kg)	培土	20,270	数値設定 せず管理	21,610	6.6%	未達成
	その他	47,334		66,266	40.0%	未達成
	計	67,604		87,876	30.0%	未達成
産業廃棄物排出量 〔合計〕 (kg)	培土	22,800	数値設定 せず管理	24,200	6.1%	未達成
	その他	89,534		288,194	221.9%	未達成
	計	112,334		312,394	178.1%	未達成
水使用量 (m <sup>3</sup> )	培土	24,229	23,987	19,603	-18.3%	達成
	その他	4,527	4,482	3,715	-17.1%	達成
	計	28,756	28,468	23,318	-18.1%	達成
環境配慮商品購入 (%)	培土					
	その他	62.7%	60.0%	55.0%	-5.0%	未達成
	計	62.7%	60.0%	55.0%	-5.0%	未達成

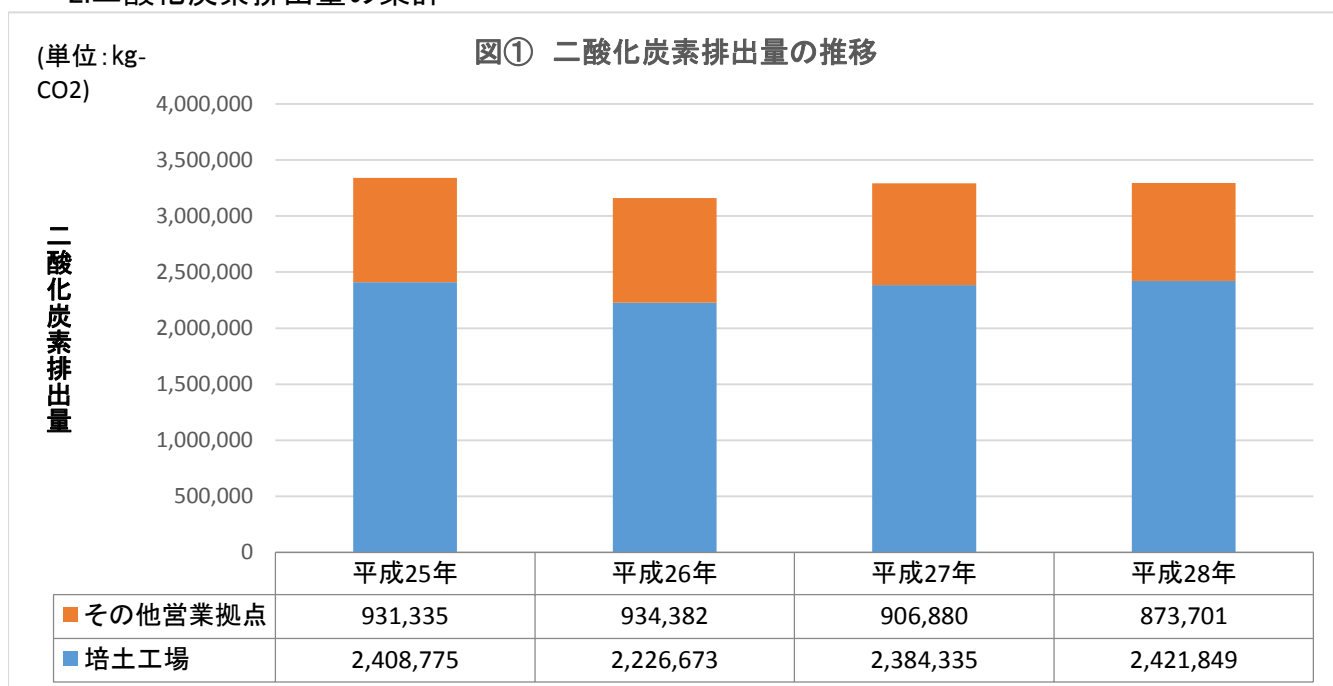
※ 産業廃棄物増減率は対前年比排出量で計算しております。

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.647kg-CO2/kwh を使用しております。

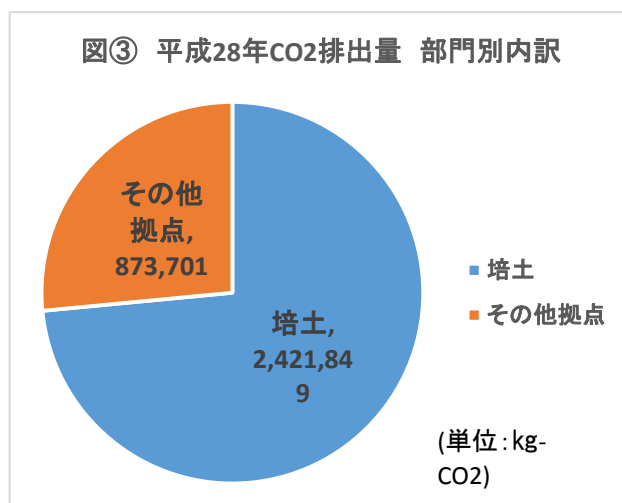
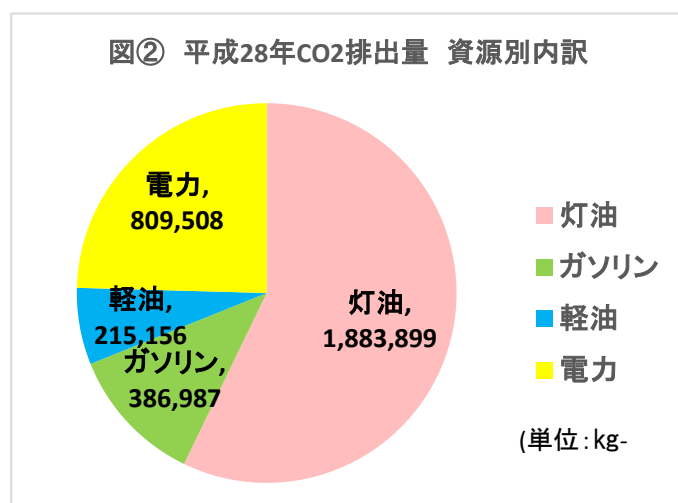


## 5. 達成状況と取り組みの評価・次年度の課題

### 2. 二酸化炭素排出量の集計



全社で集計を開始した平成25年度からの二酸化炭素排出量の合計の推移をグラフ化しました。平成28年度は前年度と比較して合計量は僅かに増加しました。培土工場では排出量が増加しておりますが、工場での生産量も増加しています。対してその他の営業拠点では、集計を開始した平成25年度から比較すると減少傾向にあります。



図②は平成28年度の二酸化炭素排出要因となった資源別の内訳グラフになります。排出割合の過半数を占める灯油は、培土工場での生産過程にて使用されています。

灯油だけでなく、生産時に他の化石燃料や電力も多く消費する培土工場はCO<sub>2</sub>排出量も多く、排出量全体の約73%を占めていることが図③の内訳から分かります。

## 5. 達成状況と取り組みの評価・次年度の課題

### 3. 環境活動取り組みに対する評価と今後の課題

#### ※ 評価基準

- ◎ 全拠点において取組項目が定着しています、次年度以降の継続と精度向上、習慣化に努めます。
- 改善意識、行動意識はあるが取り組みとして不十分なため、更なる取組向上に努めます。
- △ 意識不足なため、次年度の重要課題として取り組んでいきます。

#### ● CO2排出量を減らします!

- ・ **昼休みは照明オフ・使用しない部屋も照明オフ** … ○
  - ↳ 定着はしていますが、未使用の部屋や通路が消灯できていないときがある。習慣づけるために貼紙だけでなく別の方法も検討していきます。
- ・ **エアコンは夏28℃・冬20℃設定、クールビズ・ウォームビズ定着** … △
  - ↳ エアコンの温度設定が遵守できていないところがある。温度設定の徹底だけでなくブラインド・カーテンの利用や、服装の変更など柔軟な対応をしていくよう促進していきます。
- ・ **環境にやさしいドライバーの育成・効率のよい運転** … ◎
  - ↳ 2016年12月に行われた社員大会にて、外部講師を招いて安全・エコ運転講習を行いました。全社員に向けて交通安全の重要性・エコドライブの推進を発信することが出来ました。
- ・ **3ヶ月毎の車両点検の実施** … ◎
  - ↳ 毎月各営業拠点より提出される車両管理報告にて確認を行っています。
- ・ **使用実績は振り返る習慣へ** … ○
  - ↳ 本社の実績報告を事務局のみの報告から各部門からの報告に変更したため、使用量や実績をより確認できるようになりました。今後は部門ごとの報告をもとに、より適した取組を検討していきます。

※ 今年度のCO2排出量の合計は目標値から1.1%増加しました。培土工場では、生産量の増加率以上に化石燃料の使用量が増加していますが、電力使用量は削減されました。その他拠点では軽油の使用量が多くなりましたが、二酸化炭素排出合計量は目標値よりも2.7%削減されました。

#### ● 産廃排出抑制と分別徹底

- ・ **3S運動(整理・整頓・清掃)継続** … △
  - ↳ 各拠点に任せきりになっているため、更なる向上のための取り組みを検討していきます。
- ・ **廃棄物の分別廃棄の実施** … ◎
  - ↳ 毎月各拠点より提出される廃棄物排出報告にて管理しています。
- ・ **社内文書のペーパーレス化推進** … ○
  - ↳ 多くの連絡文書は電子決裁システムやPDF保存で電子化が進んでいるが、紙購入量は増加している拠点もあるため、不必要な印刷の抑制、裏紙の積極利用などを推進していくことを次年度の課題としていきます。

## 5. 達成状況と取り組みの評価・次年度の課題

※ 廃棄物排出量は前年度と比較して大幅に増加していました。主な増加要因としては施設事業部の解体工事によるものであり、その他拠点では大きな増減はありませんでした。また、分別廃棄の徹底により排出総量に比べ再生可能な循環資源量の割合が前年度よりも増加することが出来ました。次年度も正確な分別・処理を継続し、紙購入量の削減や廃棄物排出量の減少につながる取り組みを検討していきます。

### ● 水資源の効率利用

#### ・ 節水意識から行動へ … ◎

↳ 設備改修や機材交換を行い、節水効率のよいものに変更しました。

#### ・ 効率よい洗車の心がけ … △

↳ 台数で使用量の変動するため、洗車時のマニュアル作成や講習会の開催などを検討していきます。

※ 水使用量は前年度からの目標値と比較して18.1%も下回っており、大きく減少していることが分かります。ほとんどの営業所で前年度よりも削減されており、ひとりひとりが節水意識を持って行動した結果が表れています。次年度はこの数値を維持し、よりよい節水行動が出来るよう取り組んでいきます。

### ● 環境にやさしい資材購入

#### ・ 環境配慮商品の積極的購入 … △

↳ 前年と比較してグリーン商品購入比率は減少しました。事務用品などの消耗品や電化製品などの購入の際には価格だけで判断するのではなく、維持費や光熱費など長期的な利用を視野に入れた上で判断するよう、各拠点に促進していきます。

### ● 環境配慮型製品の推進

#### ・ 環境にやさしい製品の販売推進 … ○

↳ 農機製品の販売にあたりオフロード法を理解し、特定特殊自動車排出ガス規制法に対応したトラクター・コンバインなどの推進に取り組んでおります。また、ISEKIグループとして独自の環境配慮設計基準を設け、基準をクリアした商品に「エコ商品」認定ラベルを表示するなど、グループ全体で環境配慮製品の製造・販売をしております。



社内基準をクリアした環境配慮商品

## 6. 教育・訓練の実施、緊急事態への準備及び対応

### 1. 教育・訓練、内部コミュニケーションの実施

- ・ 毎月、集計実績を社内掲示板で掲載し、拠点別取組状況を報告。
- ・ 社内3S運動の取組みとして、毎日の簡易清掃活動、年1度の外回り清掃・側溝泥出し清掃などを実施・継続しております。
- ・ 12月に実施された社員大会にて、外部講師を招き安全・エコ運転講習を行い、交通安全と環境に配慮した運転の重要性を全社員に向けて発信することが出来ました。



H28.12月実施 安全・エコ運転講習

### 2. 環境上の緊急事態への準備及び対応

- ・ 環境上の緊急事態に備えて防災対応要領を制定し、社内掲示板にて開示しております。
- ・ 緊急事態発生時、影響を最小限に止める事を目的として拠点別自衛消防隊を編成し、各人の責務、役割を明確にしております。
- ・ また定期的に防災訓練を実施し、緊急時に対応がスムーズに行えるよう訓練しております。

#### 平成28年防災講習、訓練実績

場所	培土工場
日時	H28年5月27日実施
内容	工場内の消火機材、設備の説明 消火訓練 119番通報時のシミュレーション など



火災受信器の説明を受ける様子

### 3. 内部監査の実施

- ・ 1年に1回全拠点を対象とした社内監査を実施しており、監査項目にEA21取り組みについての状況確認及びヒアリングを実施しております。
- また、今年度より新たに取組状況チェックリストを作成・使用しました。

## 7. 環境関連法規遵守状況、代表者による評価・見直し

### 1. 環境関連法規の遵守状況

環境関連法規	要求事項・確認内容	評価
廃棄物処理法	・収集運搬業者との契約書管理、保管	○
	・収集運搬業者の許可証確認	○
	・マニフェストの収集管理、保管	○
	・マニフェスト管理簿作成、報告(3ヶ月毎)	○
消防法	・少量危険物貯蔵所届出	○
	・消防用設備点検の定期実施	○
	・消火器管理簿作成、使用期限管理、更新	○
大気汚染防止法	・ばい煙量の定期測定	○
浄化槽法	・定期保守点検、法定検査、清掃の実施	○
フロン排出抑制法	・フロン充填、回収時は外部委託により実施	○
省エネ法	・年間の原油換算使用量が1,500kℓ以下により、第二種省エネ管理指定工場に該当しない事を確認した	○

環境関連法規への違反はありません、また環境当局からの違反の指摘等は過去3年間ありません。

### 2. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成18年に登録されたエコアクション21活動も、昨年で10年が経過しました。認証時は本社のみであった活動も現在では培土工場を含め全拠点対象となり、当初より多くの社員が日々環境保全に努めております。

平成28年度は27年度までの取組を継続しつつ、資源使用量の削減や廃棄物の抑制を目標に社内講習や意識改善などに取り組んでまいりました。残念ながら二酸化炭素総排出量は27年度よりも増加となりましたが、電力・水使用量においては培土工場・営業拠点共に目標値を大きく下回る削減結果となりました。社員ひとりひとりが環境負荷を意識した考え方や行動の成果が表れていることを強く実感しております。

29年度では28年度の実績をふまえ、削減された水・電気等の使用量の維持・より効率的な節減を目標とし、また今回目標値に満たなかった化石燃料使用量の削減と産業廃棄物排出の抑制の達成に向けて、各拠点での使用実績の管理体制や取組状況の改善を推進し、更なる環境活動に取り組んでまいります。

平成29年 4月 11日

株式会社 中セキ北陸

代表取締役社長

土屋 勝